

# 獣医事をめぐる情勢

農林水産省消費・安全局

畜水産安全管理課

平成31年1月

# 獣医師の活動分野

## 獣医師が活動する様々な分野

## 分野別獣医師の数

(単位:人)

		平成28年	割合(%)	
活動獣医師	産業動物診療	4,270	11.0	
	公務員	農林水産分野	3,409	8.7
		公衆衛生分野	5,430	13.9
		その他	511	1.3
	小動物診療	15,330	39.3	
	その他の分野	5,586	14.3	
	小計	34,536	88.6	
獣医事に従事しない者(無職含む)		4,449	11.4	
合計		38,985	100.0	

【農林水産省調べ】

### ① 産業動物診療

家畜や家きん(産業動物)の診療に従事

### ② 公務員

家畜伝染病の予防やまん延防止などの農林水産分野、食肉検査などの公衆衛生分野、動物の愛護・管理などに従事

### ③ 小動物診療

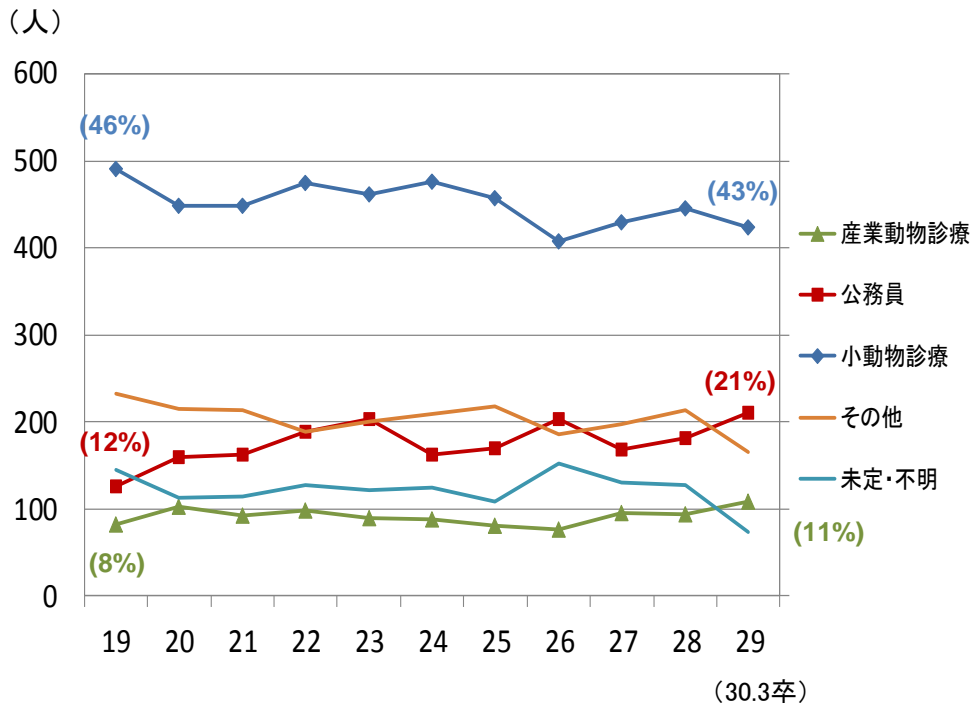
犬、猫等のペットの診療に従事

### ④ その他の分野

大学の教員、動物用・人体用医薬品の開発、海外技術協力などに従事

### ⑤ 獣医事に従事しない者(無職含む)

## (参考) 獣医大学卒業者の就職状況の推移



【農林水産省調べ】

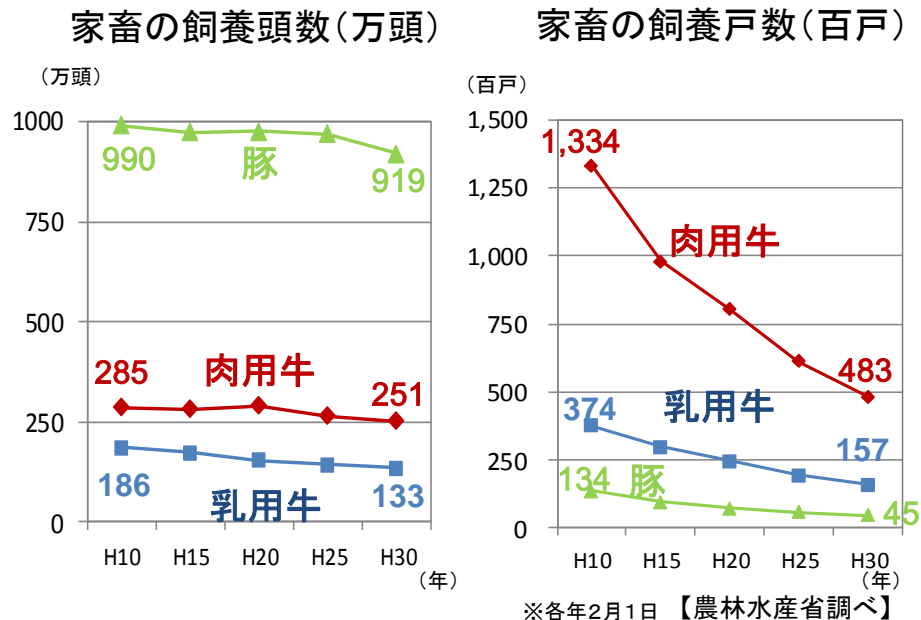
注：獣医大学卒業者には獣医師免許未取得者を含む

獣医師国家試験の実施結果（平成29年度）

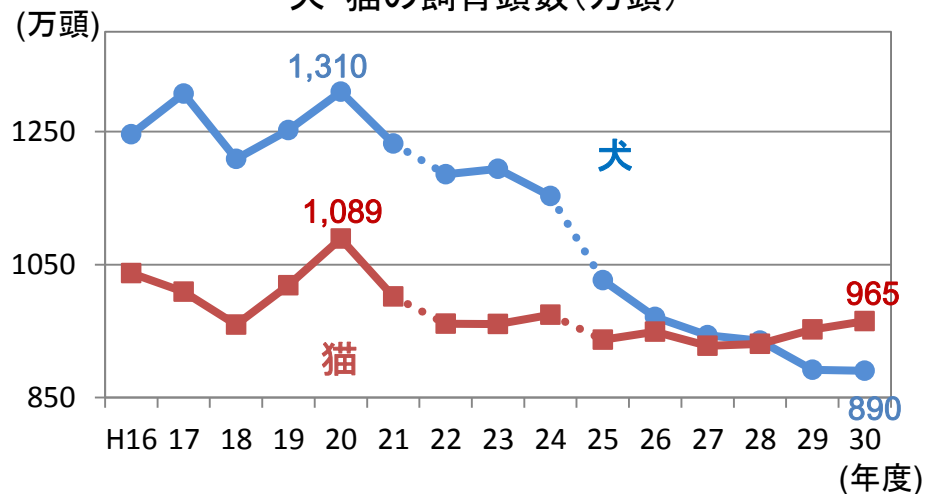
受験者数：1,277人（既卒者を含む）

合格者数：1,128人（合格率88.3%）

## (参考) 家畜及び犬猫の飼養頭数の推移



## 犬・猫の飼育頭数(万頭)



【ペットフード協会調べ】

# 獣医療提供体制の整備のための基本方針と都道府県計画

安全で良質な畜産物を安定供給するためには、産業動物分野における家畜の診療体制等の整備が必要です。

基本方針(農林水産大臣)

公表

(現行基本方針平成22年8月)

- 産業動物獣医師(産業動物診療獣医師及び都道府県の公務員獣医師)の確保
- 獣医師の技術の高位平準化
- 家畜伝染病に対する危機管理体制の強化 等

国

都道府県計画(都道府県知事)

公表・報告

基本方針に即して、具体的な目標を策定  
(産業動物獣医師の確保に関する数値目標 等)

- ・ 都道府県における獣医療の実態把握  
(家畜の飼養状況、産業動物獣医師数 等)
- ・ 生産者のニーズの把握 等

都道府県

国、都道府県が連携し獣医師や生産者等の  
ニーズに応え得る獣医療を提供する体制を整備

# 産業動物獣医師の育成・確保等対策(2019年度概算決定)

## 獣医学生等の就業を誘導する地域への支援

産業動物獣医師への就業を志す、地域枠入学者※<sup>1</sup>や獣医学生に修学資金を貸与する地域への支援

- ・ 地域枠入学者: 大学入学時に納付する費用及び月額18万円(上限)を貸与
- ・ 獣医学生: 私立学生月額18万円・国公立学生月額10万円(上限)を貸与

修学資金は一定期間※<sup>2</sup>を産業動物獣医師として就業予定先で勤務すれば返還免除

※<sup>1</sup> 獣医系大学が設定する、地域の産業動物獣医師に従事する意思を持った生徒の選抜枠により入学を許可された者

※<sup>2</sup> 貸与月額が12万円以下の場合は貸与期間の3/2の期間(6年の場合9年)、12万円を超える場合は貸与期間の5/3の期間(6年の場合10年)

## 獣医学生の臨床実習と獣医師の技術向上

### 1 獣医学生

産業動物診療や家畜衛生行政についての臨床実習等を実施

### 2 獣医師

産業動物分野における管理獣医師育成のための長期研修等、現場で必要とされている知識・技術向上のための卒後研修等を実施

## 情報通信機器を活用した産業動物診療の効率化

離島等の獣医療提供体制の効率化が求められる地域をモデルとして情報通信機器を用いた診療の試行的な導入などを実施

## (参考) 女性獣医師が生涯を通じて、能力を十分発揮できる環境作りが重要

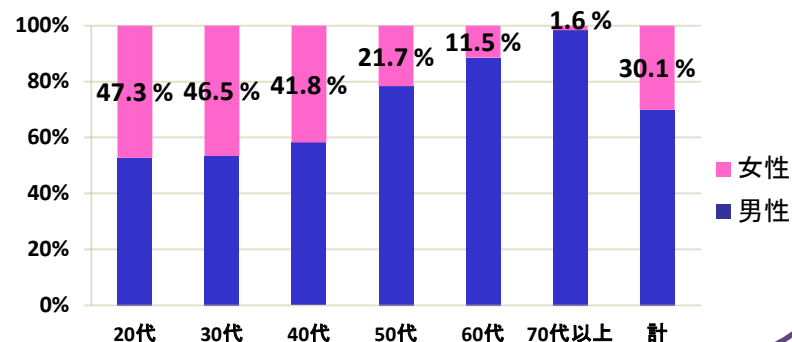
- 獣医師のうち、20～30歳代では女性獣医師が増加しており、約半数近くを占めている
- 獣医学生の約半数は女性であり、今後も女性獣医師が増加

### 課題

- 結婚や出産、子育てを理由に離職
- 長期離職による技術力への不安等により、再就職をためらう者の存在

### 獣医事に従事する獣医師の年代別男女比

【農林水産省調べ(H28年12月末現在)】



## 女性獣医師等の産業動物分野への就業支援

- 1 女性獣医師等のスキルアップ  
職場復帰・再就職に当たって、最新の知識の習得や技術の向上を図るための研修を実施
- 2 雇用者の理解醸成  
女性獣医師等の就業に対する理解を醸成するための講習を実施
- 3 学生への情報提供  
将来の就業先について考える機会を提供するセミナーや獣医師が働く診療現場等の見学を実施